

## 櫛本六総代説明会会議録

平成27年3月24日(火) 午後 時から 時 分 場所:

市側出席者: 並河市長、山中公室長、井上課長、

### 市長資料説明

六総代: 資料の赤枠で負担金とある所に、建設負担金が9億6,000万に減額ありますとあるが、幾らから、この金額になるのか。

天理市: それは左隣の列を見て頂ければ、これが国からの補助金とかを差し引いた天理市の建設負担額です。その1番下を書いてある26億というのが、今の天理と山添、川西、三宅でやった場合のお金でございます。その上に書いてあるのが、色んな所と組んだ場合の数字になっています。例えば上に16億と書いてあるが、それを差し引いた値段が、その隣に書いてある現状との差9億4,000万という事になっていまして、その上でしたら19億ですから26億4,700万から19億2,600万を引いて7億2,100万というのがこの表の構図になっています。

六総代: 1番下の84億というのは、新たな炉を造った場合という事ですか。

天理市: 84億と書いてあるこの列は総事業費です。国が支払う分も入っている。市町村の分も、要は建てる全体に掛かるお金が今の天理、山添、川西、三宅でやった場合は84億掛かります。そこから補助金とか抜いていったら、天理は26億掛かるとというのがこの説明になっています。その上の数字が大きいのは、組む相手が多くなってくるとその分、炉の規模が大きくなってきますので、規模に於いて事業費は増えていく、ただ皆で分担して割っていけば結局、天理の持出額は減っていきますよ、そしてみんなで維持して、効率的なので維持費も安くなるという事です。

六総代: 防災拠点としてと説明あったが、この天理教の土地は、奈良盆地東縁断層帯というのが気になっているんですが、それでも尚、防災拠点として運営可能とお考えなのか。この土地の真下、若しくは真横になるんです。それでも防災拠点と成り得るかどうかですね。

天理市: ご指摘のように、東縁断層帯が奈良盆地を走っておりまして、一般的には、そのような地震というのは近年には無いわけですが、安政南海だとか、幕末まで行けば、この櫛本でもある程度、揺れがあったというふうには記録に残っていると承知しています。ただ今回の東日本大震災クラスであつたりしても、それによって直ちにクリーンセンターが崩壊したというような例は、私共は認識しておりませんし、又東日本大震災レベルで、今回の発電に関しては、非常に問題になった。ただ原発も地震の揺れで放射能が漏れた訳では無く、津波で電気が止まって維持できなくなった。この施設に関しては放射能が漏れるという事は全くない訳で、あくまでごみを燃やす炉というところに成っていますので、今ご質問頂いた形で運営出来ないレベルで建物にダメージが生じたからといって、そこから何か有害物質が漏れ出すという事ではないというふうに思っていますし、当然今の技術であれば、相当の耐震性というのも設計で入れながらやっていくわけで、どの位のものが最新の施設の震度を検討しているかというのを、今の質問を受けて、私の方でも改めて調べて行きたいと思えます。阪神の時に、天理がどの位揺れたか等、色んな事を考えた時、多少被害がある状況に於いて、電気が止まる停電というのは広い範囲で起きてくる。その時にこ

ちらが動く範囲で、電力供給が出来るという事は十分防災の機能としては果たしているかなと思っています。

六総代：4例出ていますが、市として最大でやる予定しているんですか。

天理市：意向の打診をしてみないと何も分からない状況です。相手の予算の状況もありますし、今すぐ動いても9年後なので、そんなに待てませんという事も十分考えられます。ただ実際に斑鳩は炉がダメになったので積替施設を造って、三重へ持って行って、民間でやってもらっている。何故県がこう・・・事が十分考えられると言っているかということ、もの凄く割高なんです。今後炉がダメになって、どこかに持って行かないといけない自治体であったり、或いは自力では修繕仕切れないような所、土地が無いような所が中和、西和にはいっぱいある状況の中で、現在相当の自治体は、もしここで出来るという事であれば、十分関心を示すのではないかということ、それで行きますと、同じように運用していく事になって、ここにクリーンセンターが有るという事になると、車とかで、もの凄く地元で迷惑が掛かるという事で無い限り、基本的に出来るだけ大きな枠組みが、県全体として効率が良いという事になりますし、又我々の財政助かるという事なので、出来れば乗って来て欲しいなというように進めていきたいと思っています。それをまず、県から意向の打診をして、そこから議論を積み重ねて行く中で、最終的には12月の段階で議決をして、こういう枠組みで行きましょうという事が出来たらいいなと考えております。この今の敷地で最大のものだとしても、一部駐車場だけ、1番大きな4の場合は、若干他に確保しなければいけないというものもありますが、クリーンセンター本体の施設としては、全てこの中に納まるというふうに考えております。

六総代：1から4まで資料あるんですが、交通量ですね、資料5のごみ収集車は、天理の分だけか。特に市場としては、名阪国道にたくさん他から通る恐れがあるので。

天理市：パッカー車の台数というのを計算しようという事で調査をかけているところですけども、遠方からそれぞれバラバラに持ってくるのではなく、斑鳩さんも積み替えて、大きな車で三重に持って行っています。ですから、入る為の条件を、このような車で来て下さいという事はやっていくという事になります。現状他の市町村が、動かしている台数という事ではない。その上で処理量からすると、2から3倍程度という事で考えております。それを東インターから直に降りてくるルートで、或いは天理インターの所から市場を通過して、中を通過してくるというルートで、そこは台数をしっかり精査した上で、ご迷惑が掛からないようにやっていかないと考えています。今、各町がやっているもの、そのまま全部やって来る事ではないという事なので、しっかり車の台数を見た上で、市場の皆さん始め六総の皆さんには相談していきたいと思っています。

六総代：名阪、今でもたくさん通っていますので、しっかりデータ等お願いします。7時25分から始まったが、市長もいる事やし、出来たら7時に来て欲しかったなと思います。何故今頃、選挙終わってから出されたのかと思う。議員さん居るわけですけどね。議員さんも反対も賛成も出来ないわけですよ。来る人は、誰でもみんな反対する立場やってんね。何故、市長、議員と仲悪いのかと思うんですわ。何か、今出したら可哀想やなど、9年先と言うなら、もうちょっと5月までにしなかったのかと、9年後と、今しかないと言うねやったら。今で無かったら、これは、絶対・・・無かったら、僕ら何ぼ言ってもあかんと違いますの。もう、日程決まっていますやん。近隣のこ

こしか無いと何ぼ言ってもあかんと違いますの。ただ中身の問題だけ話出てるけど。場所は絶対ですか。そういう捉え方しますわ。シャープさんと、話してるのかなーと。今のシャープさん、実態を見たら非常に景気悪いし、もしかしたら9年後やったら、あそこの会社どうなるか分からへんし、もしかしたら土地も下がってくるかも……。もしかしたらシャープさんとも話終わってるのかなと……。

天理市：繰り返しになりますが、市議会の皆さん大半が、非常に建設的にやって頂いている。櫛本についても、お骨折りをいただいて、又観光関係だけでなく、地元活性化にも入って頂き、又新しい公民館についても、移設に先頭切って取り組んでいただいている中で、お力添えをいただきたい。私の率直な意見です。私自身、櫛本でお世話になっている方に率直に申し上げているところです。行政と言うのは、政治と切り離さなくてはいけない。もし私が殺されても、市が停滞するという事は一切あってはいけない。何があっても市行政と言うのは、着々とその時にやらなくてはならないというのが公の姿だと私は思っております。来年度に入れば、予算組みもしっかりしていく、12月に議会へ出していく為には、すぐに予算組みをして、資料を作り、県の補助も付けていく等考えております。他の市町村にも、早くお話をしていきたいと言うのが率直な所ですが、地元の皆さんにお話していない段階で、他の市町村へ持っていく事は出来ないという事で、この時期になりました。本来であれば1月2月とかもっと前にやりたかった位ですが、地権者その他との関係で、ようやく資料も整いましたので、ご説明出来るのが今のタイミングになってしまったという事です。じゃあもう決まって実現しないといけない、何の為に説明会やってるといような思いを持たれる方もあるかと思えます。それについては、出来レースではないのか、他の選択肢あるのかと言われれば、行政には現在やらせていただく中で、まず他の選択肢はございません、持っておりません。どうしてもダメになったら、今ある所の周りをどう広げていくかというのが、唯一可能性があるが、非常にハードルが高いので、出来ればここでやりたいというのが、私達の思いです。住民同意ですが、全体的には要らないですが、進めていく中で、一部反対されると訴訟起こされますので、それによってどんどん事業が延びていくと。産廃の話が、かつて天理にもありました。あの施設というのは、関係、周りの皆さんの合意の印がないと前に進んでいきません。そういった、合意の印を押さないといけない施設かという、そうではありません。ただ、止めてくれと訴訟が起きたら、それが延びてなかなか出来ないというのが、他の自治体にもある事です。色んな意味で、地権者が合意をしていれば進める事が出来るわけですけども、やはり住民の皆さんのご理解というのは非常に大事だし、本質的な事だけでなく、やはり市のあり方として、ここに住みたい、造っていききたいという行政が……進めていったとしても、それは、地元の皆さんに本当のところを、これで大丈夫か、地面は大丈夫か、水は、そういう所について、きちんと理解をいただかないと進めていけないと思えます。100人居て100人共納得できる状況というのは、なかなかどうしても気持ちの上で嫌だという人も出てくるかも知れないが、そういう人も無視して、法的には問題ないからと言って、市がドンドンやっていくというのは、市のあり方としていけないと思っています。又どういうふうに調整池を造るんだ、どんな検査をするんだ、どういう市町村とやって、実際にはこの時間帯で、こういうルートで、こう来るという運用の使い方によっても、地元にかかる負担は大分変わる訳で、だからこそ、こういった場を持たせていただく中で、少しでも皆さんに安心していただけるような造り方、ご迷惑のかからないような運用の仕方をして行きたいと、今説明会を持たしていただいている原因なんです。それをこれからずっと出来るまで、出来てからも積み重ねて行って、櫛本の皆さんのご理解を頂けるような形で、しっかりと説明をし、対応をしていきたいと考えています。

六総代：その中で敷地面積が19,000㎡で、有効面積が12,000㎡という事。郡山市で温水プール、排ガス発電とか、スポーツ施設とか、こういう付属建物とか、建物の中にそういうものを考えて頂いているのか。

天理市：地元にとっても、市にとっても、付加価値が高まるような周りの関連施設というのは、今後出来るだけ考えていきたいと思っています。道を渡りますと、市のグラウンドもあり、そういった所の活用も考えたいと、そこは基本的に検討段階には至っていない。温水の活用だったり、バイオマスについても、間伐材をチップに加工する施設が必要になるので非常に有効だし、環境にとってもプラスになる事ですので、そういう枠組みを作っていく中で、県と市の連携協定の中でも、どういふものを周りに持って来れば皆様に喜んでもらえるのか、今後しっかりと考えていきたいと思っています。今すぐに動き始めても9年ある状況で十分にそれを生かしていく方策を考えていけるかなど、その点については、是非地元の方のご提案を聞きながら、出来る範囲において一緒に考えていきたいと思っています。

六総代：場所について。名阪使う事によって、より広域に出来ると、広域にすれば規模のメリットもあるという説明だったと思うんですが、名阪沿いの市町村でやるなら全て同じ状況だと思う。防災センターを造るというイメージもアップ、広域でやるなら、人口の多い所でやるとか、西名阪も色んなインターがあるが、降りた所での設置場所として、適性をどう検討しているのか。天理市はこう考えているが、他の市町村が我々の市でやりたいとかが有るのか、無いのか。

天理市：県の方でも、ごみの割には施設が多過ぎると、もっと広域化して欲しいと、色んな自治体研究会させて頂いた経緯がありまして、それは続いているが、中和、西和においては、3年目か4年目ですが、全く微塵も実現性が見い出せていない状況です。実際名阪沿いのインターの所に田園地帯があるわけで、ここはやろうと思ったら出来るのと違うかと物理的には見えるかも知れないが、そこは地区地点の関係を見ていった場合、今現在、県の方として西和、中和で10,000㎡以上で、クリーンセンター建てられる場所が、全くないという判断です。敷地面積が大きくなれば25,000㎡位必要になります。今のクリーンセンターでも10,000㎡ですので25,000㎡位必要です。全部になると27,000㎡、赤で囲ってあるのは高台の部分だけで19,000㎡です。なかなかこれだけの場所がない。実際、奈良県にこういう立地が進まないのは20,000㎡規模のものがあれば出来るんですが、それが確保できないから、実際、身動きが取れてないのが今の状況です。大和平野に於いてそれだけの場所の確保が難しい、山の方では自然公園法等掛かってくるので、造成がある程度出来て平坦な部分も確保出来て、且つ20,000㎡あって、地権者が何十人も居るとなると、これだけの年月をかける開発事業だと、色んな話が挙がってくるか、こちらについては、地権者が一人、且つ貸していいと言ってもらっているの、私共としては、天理市内においてこれ以上の場所は無いですし、又今から他の市町村に、どうですかと意向確認をして行かないといけないうし、中和、西和の方にあるんだとすれば、もうこれまでの間に少しは道筋が出来ていると、それが全く出来ていない。土地が・・・無いという証でございます。だから、斑鳩は待っていられなかった。炉が止まってしまって、周りと組んでやれば、もうちょっと身近に欲しい訳です。だから、乗換施設だけ造って、三重まで持って行っている状況です。この点をご理解頂ければと思います。

六総代：今から何年になりますか。

天理市：赤で囲ってある所が19,000㎡、全体で27,000㎡。

六総代：最大27,000㎡位必要やと言ったから・・・ややこし話やな。

天理市：言い方がまずかったと思います。我々が確保しているのは、それが丁度入る位の大きさが確保されているという事です。

六総代：19,000㎡ですね。

天理市：棟が、今のクリーンセンターも炉、管理棟、持って来た不燃物を保管する場所と、幾つかの建物に分かれていますので20,000㎡のものが1つ建つのでは無い、一番根本になる焼却炉の施設ですが、それが高台の中に建つという事です。

六総代：面積があるか無いとかいう事でなくて、もっと建物の建て方を考えれば、もっと小さなスペースでも出来るかも知れないですね。

天理市：一杯いっぱいです。27,000㎡より下回ってくると、それでも最大でも駐車スペースが足りませんが、根幹の部分では、場所分けをさせてもらっていますが、それによって大きく変わるんですが20,000㎡以上が必要になってきます。条件というのが面積、地権者、土地の水源、どうなっているのか、自然公園等では、物理的に造成に10億以上お金がかかる土地ではないかどうか、それまでの道路アクセスが出来ているか、インターからの距離、1つの要素だけで決まるのでは無く、色々適合している場所で無いと。今、奈良盆地の一带の中で、ここは奇跡的に合った場所だと思っております、それが南方で、大淀、吉野も広域をやろうとしているが進みません。今回ご理解を得ながら、進めて行く事が出来る場所になると思っております。

六総代：市側から見たらそういう事だと思うんですけども、香芝だとか、インターに大きな・・・があって、且つ防災センターが必要だと思われる地区の所、その検討結果を聞かないと、我々も他に案があるじゃないかと思ってしまう。

天理市：防災センターとして造る訳では無い。防災的な機能というのは、あくまで二次的なもので、先ず必要なのは、ごみ処理出来るというのが一番の目的です。何故申し上げたかと言うと、昔からずっと迷惑施設と言われてきた中で、今国の捉え方ではそういう捉えではなくて、むしろプラスに捉えられている施設ですよという事を申し上げる為に来たわけで、防災センターとしての機能も大事ですよ申し上げましたが、仮にここで一切電気を作らないという事になったり、温水が折角出来るけど、それを一切使わないという事になっても、この場所にクリーンセンターを設けるという事はごみが処理出来る、その1点だけをもって、我々にとって必要なものだと、行政ではなく、市民にとって必要なものだと考えています。

六総代：これから住民説明会も色々ある訳ですけども、大きくなったなという事ではなく、色んな選択肢の中で、ここがこうだという説明を是非して頂きたい。防災センターも大きくする事、これは1番ではない。むしろこういう時代だから、それをもっと大きくする事によって住民に対するメ

リットは何なのかと・・・。

天理市：何れにしても、ごみの為に造るという事ですけども、色んな有効利用も、出来る限りのものはやっていきたいと思っている。どういった事例があるのかも、今からさせて頂きたいと思います。

六総代：断層帯の上に造るというの、市長は有害物質は出ない、放射能は出ないというのは分かりますよ、この中で災害が起こったり、地震が起こったり、ここが潰れた時、当然ずっと下の方ですから、上まで影響が出てくるやろ、たちまちそこではごみの処理が出来ない。もう潰れてしまったという事ですか、そうそう。そういう危険な所に建てる、どういう建て方が出来るのかどうか、それと仕事の関係上、市長が言われた生活用水は公共下水と言ったが、私の経験では、あそこ処理区域外と違うか。シャープは来ていますね、下水にするのは、処理区域決められてるやん。県の方で処理区域に入れやんなら、処理してくれへん。簡単に公共下水やと言うたかて・・・。

天理市：はい、すみません。もう一度精査します。

六総代：それと細かい話になるけど、スケジュール表の所に、遅れると交付金の申請が出来なくなる、というのは、1年ずれても出来るという解釈でいいのか。遅くなったら金掛かるといのは分かりますけど、今年の5月から・・・。

天理市：交付金のタイミングの為に、年単位で遅れていくという事です。始めの書き方、文言悪いので、修正させて頂きます。交付金は出来ず、1カ月遅れたら操業も1カ月遅れるという事ではなく、補助受ける為には、1年単位で遅れて行くので、長寿命化せずに、そうかそうかの時に致命傷になってくるという、使用できなくなるという事です。始めの断層帯の所に戻りますが、日本は至る所に断層帯が走っていますから、それを避けて行くというのは困難で、東日本、阪神大震災の時に、このくらいの打撃を受けた所があるのかと、きちんと調べさせて頂きますし、最新の施設の耐震度というのは、私も何処までの所があるのか、資料にさせて頂きたいと思います。その上で申し上げるのは、東縁断層帯がえげつない形で、天理を襲った場合は、手元に資料が無いんですけど、いつも防災だったり、天理市内で何万という世帯が潰れていく、万単位で人が亡くなるという極限状態でございますので、ごみの施設だけ生きているのかの以前の問題としても、市が無茶苦茶になっている状況で、それが極限の状態があるという想定はしないといけないが、限定的に可能性が高い範囲において、そこが立地いいのかどうか、考えて行く必要があるのかと、又地震があつて、直ぐそこが液状化してしまう土地だと、これは選ぶべきで無いと思います。周辺隣接の県だったり、南海トラフだったり、揺れが来る時に直ちに潰れてしまうとか、本当に東縁断層帯、直下型の時にもつのかどうかという議論は、正直その議論だけ突き詰めて出来ないという事ではないかと、その時になれば、ごみだけ収集しようと、クリーンセンターでは収集仕切れないような膨大な瓦礫が天理市内で出てくるので、そういう事を想定しながら、なかなかしんどいというところです。

六総代：ただ言っているのは、そういう所に建てるというのが、選択肢としてあるけども、やはり若干心配をして欲しい。

天理市：リスクマネジメントにおいて、今の耐震性能がどうなっているのか調べさせて頂いて、ここの

地盤がしっかりした固いものであるという事を検証しないとイケない。欠陥であるという事が分かってやるとか、そういう事ではないというのを理解して頂きたい。下水の点ですが、上下水道局も一緒になって、今やっていますが、念の為に県の方にもう一度確認させて頂きまし、又今回については、県の前向きなプロジェクトだという事で、流域の調整も含めてやっていかなければと思っています。

六総代：市が交渉されている処理場ですが26,000㎡の確保それについて今後9年後に稼働すると、これが15年とか20年で又新しい物造って行かんなんという話になってくるんですね。そうした時に、これは今の嘉幡を潰してどうかは出来ないのも無理だから、新しい場所で設定されたという事になれば、これ次、悪くなると考えた場合に、どういう構想持たれているんですか。今の一番の決定条件というのは、パッカー車と総工費ありきという、もし嘉幡の方に構想持っておれば、逆行するんじゃないかなーと思うんです。将来の見解が、この場所の拡張を考えているとか、もっと交通ルートが良くなって行くとかね、次の方に考えていますとか、そこを聞かせて欲しい。そして嘉幡の現状は、どう展開されるのか。

天理市：15年と申し上げたのは、今の嘉幡の炉を長寿命化して、もたせたのが15年と申し上げたので、今の施設自体は建物が33年。ズーっと使っていこうと思うと40、50年というのはもつ訳です。ただ、その中で炉については20年位で、建物はそうだけど、炉だけ入れ替えていくようになっていまして、15年単位で次々と移っていく施設ではない。この部分も40年50年次を考えていく訳でして、その時にどういう炉になってくるかという事は50年間に色んな技術が変わってくる訳なので、あまり今の時点で考え過ぎても、基本的には小さくなっていく。今までの傾向からすると、段々効率性の技術が上がってきますし、処理のスピードだったり、資源の回収が増えたりしますので、焼却規模としては、どんどん下がってくる。又50年後となると、今の人口淘汰で見えておりましたが、天理市ないし奈良県全体の人口も下がってくるので、今のこの時点で50年60年後、この位置にこういう大きさのものを造って、次のプランが無いと建てないというのは出来ないと思います。ここが15から20年に区切って、その次に造るという事ではない。出来るだけ長く使っていきたいという思いです。その上で、今の嘉幡の所、準工業地帯でもありますんで、仮にこちらに移ってきたら、そこについては工業化も含めた売却という事も検討していきたいなと思っております。嘉幡が、ここがダメになった時にもう一度戻っていく場所として認識していませんので、しかもあそこは市内でも非常に限られた企業が立地していける場所です。準工業地帯というのは調整区域ではございません。しかもインターからも非常に近いので、民間の企業でも需要がある場所なので、嘉幡については売却という事を検討していきたいと思っております。

六総代：その選択肢の中で・・・件が一番・・・環境を達成すると、それは何処へ持って行っても達成しなければならぬ、後はコスト安い方がいいんですが、天理市であれば何処が一番よくごみが出るか、統計取られているんですね。そういう所に、例えば橿本校区、丹波市校区、朝和校区・・・そういった所を選んで、そういうごみが出る所は、パッカー車はよく通りますよね。回収に回すには。

天理市：今仰っているのは、人口密集地ですね。前栽校区が一番人口密集しています。

六総代：だから、その近隣に立地するという考え方も。だから候補地も何候補か、福住は遠いとかい

う話ありましたが、他にどういう所あったんかなど何候補あったんですか。

天理市：最終的に絞り込んでいって、使い物になる所は1つです。土地取得もごみも立つという所です。

六総代：使い物って・・・。検討されて、何件くらいですか。

天理市：6から7件です。具体的な施策として進めて行こうという判断出来たのがここだという事です。

六総代：検討した場所は何処と何処ですか、教えてもらえませんか。

天理市：まず、福住と、田原本との境の武蔵の辺、今のクリーンセンター田原本と隣接していますので元の境の所です。それと櫟本の天理教さんの所で3カ所、現況の拡大含めて6から7カ所。

六総代：現況の所で解体の期間だけ、天理市の分だけ斑鳩のように他の所に頼んど、そういう方法は考えられなかったのか。

天理市：それは又別にそれだけの為に積替施設を造ってやらないといけないという事になってくる。

六総代：仮に5年位掛かるんだったら、その手間だけ、天理のごみを・・・へ持って行くと、どこかの市町村と連携するとか、民間業者でもよろしいが、そういう事は考えなかったんですか。

天理市：どこかに持って行かないといけない所からして、櫟本の皆さんからすれば、何故うちやねんという思いがあるのは、これは私も十分理解できる事ですが、建てるまでの全体的なコスト、手順とか、効率性を考えれば行政としては、ここでやらせて頂きたいと判断したという事です。

六総代：この前に区長会で言われたとの事だが、それまでに色んな案あったと思います。なぜ担当の所で説明無かったのか。我々、なるならん別として生活に必要なものですから、何処かに持っていかないとかん訳です。しかし、地元として来て欲しくないというのが本音です。しかし、何処か選ばないといけないわけです。候補上げられて、こんな状態だと、こういった説明なしに、ただ単に校区の区長会長とかに、この案で出すというのは、ちょっとおかしいんじゃないですかねー。これは地元町民の了解なしに建てられますよねー。地域住民の同意が無かったら出来ないとすれば、もっと根回しされると思いますよ。そうじゃないですかねー。

天理市：ですから今こうやって順を追って、説明会を設けさせて頂きたいと思っています。

六総代：こういう説明会する前に、区長さんなりにある程度話があるとか、そういう話をして欲しかった。始めて聞いた今の話ですが、校区区長会に話がありまして、その段階では、全体的な校区じゃなしに、何故地元から説明会してくれないんですかという事で、区長会ではそういう事になっています。ですから、この話は先般も言ったように、今聞くのが始めてです、私達も。ですから、今そういう意見出してもらっていると思います。区長会は、そこまで知って無かったです。話が出たというところで、考えていますというところで終わらして頂いたのが現実です。案、出されるんでしたらね、何カ所かの案を出して、区長会なりに持って来ないと、こんなんあって櫟本に



なるというような話やったら分かりますわ。こういう事だという説明を、区長会でして欲しかったですわねー。

天理市：私の説明の仕方が悪かったかも知れませんが、申し訳ございません。その点は、市全体として6カ所程検討して来た中で、実際に、地権者、土地取得の目途が立つのかどうか。車のルートとか、効率化も含め可能かどうかというような諸条件も考えていった時に、ここが条件としていい場所であろうという判断をしたという事。

六総代：選択肢がいっぱいあると、その中でこう見えてきたという考え方が分かるようなものを提示頂かないと、論議しても進まないという要望やったから、これからそういったものを準備して頂きたい。

天理市：その際には、こういうふうの問題ありませんという資料だけじゃなく、何故ここが最適の場所として考えたかというような検討の時の要素がきちんと分かるような資料を是非準備させて頂きたい。私共の準備不足で、大変申し訳ございませんでした。

六総代：2点だけ質問、1. 今考えているのは、最新の炉になってくるのかなと思うんですけども、そうやってきた時に、今、東日本震災の関係の放射性的物質を含んだ廃棄物、こういうものの処分というのが問題になって来ていると思うんですが、当然最新の施設の所に対して、焼却を依頼したいというような事があるかと思うんですが、受け入れるかどうかという事です。2. 焼却炉について、臭いが周りに漏れませんかよと説明があったんですけども、当然ごみなので腐敗臭も含めて色々な臭いがあるんですが、そのごみ本来の臭いが、その周辺にどれだけ出ているんだという資料が、この中に一切無いので、その辺の所、ここの場所というのは福住・・・風が西向きの風が吹く地形なんです。私住んでいる白川台含めて、今六総部分西向いて高瀬川沿いも、西向きの風が吹きますので、その資料が無いので、その辺のご説明をしてもらいたい。

天理市：2点目については、基本的に表に柵ざらしにするごみというのは無いわけで、空気にそのまま触れて、臭いが漏れていく施設じゃないという意識でして、且つ色々な所において、直ぐ隣接の所に回す棟も建っているという事です。他の類似の施設も周りの臭いも、どういう状況なのか、調査した上で資料を作らせて頂きます。例えば、武蔵野だったり、三鷹だったり敷地を出た所で、他の所に比べて臭いがどうなのかという所も分かれば、ご安心頂けるかと思えます。それは至急着手したいと思えます。もう1点の所の放射性的物質の所については、クリーンセンターのものとは少し違う政策判断のところになって来ると思うので、仮にクリーンセンターと同じものを持っていたとしても、放射性的のものを受け入れるかどうかというのは違うお話で、今現在において、全くそういった事をというものは無いです。

六総代：荒井知事、一回発言された件で、そういうのが話題に上った事が・・・。

天理市：国から打診無いです。

六総代：今現在もですか。

天理市：無いです。国からそういった打診を受ける事は無いので、そこまで行政として無いので、それは又別の次元の話として、その時には何か放射性じゃ無かったとしても、元々天理市ないし、その組む相手の一般的なごみを焼却するクリーンセンターとして、住民の皆さんのご理解を得てという訳なので、それではない事を仮にやろうとした場合は、又きちんと政策判断をして皆さんのご理解を得て行かないといけないと思っております。何かする時、無視してそんなものを燃やしたりそんな処理すると全然聞いてなかったというのを独断でやるとか、そういう事では無いとご理解下さい。一部悪臭についてですが、お渡ししている資料の中で、建設予定されている施設、豊中市伊丹市クリーンランドという施設、平成28年に稼働する施設ですけれども、施設の機械とか、全部建屋の中に閉じ込めて、その建屋の中で中間処理の作業も、ストックヤード的なものも中に入ってしまう。建屋の中にパッカー車が入る時は、エアーカーテンでしっかり仕切って、中の悪臭を外へ出さないというような施設になっています。どういう仕組みで臭いが漏れないか、それがどの位の数値で表す指標もありますけれども、それからしてもどうなんだという事について、別の資料を準備させて頂いて、次の機会に間に合うようにさせていただきたいと思えます。環境影響評価で、臭気が漏れないようにという事なので、多分臭気の公表は無いかも知れないが、アセスメントの方でやりますので、仕組みと臭気指数を提示させて頂きます。

六総代：新しいごみ施設の排ガスの状況という資料3、法令基準という数値が上げられているが、あまりよく分からないので、この基準数値、我々イメージ出来ないんです。どういう環境を想定したらいいんですか。

天理市：一番の問題が、ダイオキシン・・・。

六総代：東日本大震災の時に原発が放射能漏れを起こして、その時に、今までの国の基準が厳しかったので、緩和された記憶がありますが、果たして国の基準が信用出来るのか。あの時滅茶苦茶緩和されたと思う。ある程度信用出来るとしても、今、稼働しているものの排ガスの状況、出ているんですか。これで本当に影響無いんだろうか、隠しているのと違うかと新しいものを造ったとして、どれ位この数値を想定されているのか、それを確認したい。

天理市：環境基準と、やらないといけない環境アセスメントについては、もう少し説明を加えさせて頂きたいと思えますけれども、ここで皆さんにご理解頂きたいのは、今、天理の中で吸っている空気等、それは丹小という一つ数値があったので、例に出したんですが、我々が、丹波市小学校の辺りで吸っている空気の中の有害物質と、ここにある三鷹の、その場のちょっと離れた空気の間で差がないんです。つまりここは出ているものが水蒸気なんですと申し上げたい。これがある事によって、三鷹の中で0mの所、600mの所と2.7kmの所で数値に違いがあれば、クリーンセンターから出ているものが近ければ近い程影響しているという事になる訳ですけども、それが実質的に何処も差がないという事は、煙突から出ているのは水蒸気だと、それが丹波市小学校で吸っているものと変わらないですよという事を申し上げたい。何かこれから有害物質が出るというのが、そもそも想定していない訳です。今仰ったのは、このクリーンセンターの煙突から色んな有害物質が出るという事になると、それがどの位まで押さえられますという事を、この場で推計出して、申し上げないといけないんですけども、そもそも水蒸気なんです。これをご理解頂く為の表だと。一つ補足ですけど、資料3の左の表を見ておられて、法令基準のお話をされていたかと思えます。一番毒素が強いと言われるダイオキシン類の所を見たら0.1ngと書いてあります。これ以下でな

いとダメだという事ですけど、これは最新の施設の辺りですと1ngは10億分の1gの事で、実際今の嘉幡のクリーンセンターの基準は平成12年に改修しておりまして、旧の法令基準を適用し1ngが法令基準になっています。今度、新しく施設を建てる時には0.1ngと厳しくなります。それと尚且つ炉の大きさによりまして、実際小さい炉ですと1ngというような基準になります。今の表の中で1案、2案、3案は全て0.1ngという1号の基準という事で法令基準に乗せさせてもらうという事です。

六総代：今の下表ある、周辺環境測定クリーンプラザふじみとある、その二酸化硫黄については同じで、ところが二酸化窒素については、遠く離れて行くのに高くなるのはどういう事か。

天理市：二酸化窒素とか、浮遊粒子というのはディーゼル車とかトラックとか、その辺の排ガスに非常に影響されやすい物質です。

六総代：トラックの排ガス・・・。

天理市：世の中には全く有害物質を出すものが無ければ、これだけの要素になって遠くに離れて行くに従って綺麗になるだろうという事ですが、実際にはクリーンセンターより、もっと空気を汚すものが、ディーゼル車とか走っているの、その周辺環境のいくら車が走っているとか、他の工場があるかとか、そういう事に影響されるものです。

六総代：そういう事ですか。

天理市：環境影響評価、1年通して四季で測ります。

六総代：高速道路もどンドン走ります。

天理市：環境影響評価は、そこに建てた場合の四季の前後に差異が出るかというのを見る訳です。漠然と天理の中では無く、ここでやった場合に建てる前後を検証するのが環境影響評価になります。

六総代：今の隣には、高速道路走っている。その高速道路の影響で、物質が増えるねやろ。そんな比較出来ないやろ。

天理市：建てる前後でやります。突然、急にディーゼル車が走るような、今の何倍にもなれば、全然分からないわけで、仮に同じレベルの車が通り続けて、その通る車の性質が同じという事になれば、そこが分かってくいんだらう。世の中むしろ車がだんだん排ガス少なくなってくる時代なので。

六総代：事前の調査と、建ててからこう変わりましたと言われてもおかしいし、量的、数字で無いと思うが、その調査のやり方について。

天理市：今正に、建っている類似の最新施設を、皆さんに提示させて頂くというのが、ここに建つ物に限りなく近い物でございます。それと共に、何で6年間も建てるまでに掛かるのかという事は、それだけ厳しい評価をやらないといけない訳です。建てた後に環境アセスメントをやらせて頂い

て、基準内であり、その後、建ててから検査して、基準内であるというのが引き渡し条件です。それから本稼働となるわけです。環境アセスメントは、それが環境に問題ないという事で建てる為の条件になっておりまして、そもそも、それが環境基準を満たさないというような事になれば、建てられないという事になります。それと共に、その時に合格だと見なしていたにも関わらず、実際試運転の時にダメだったら、その施設に何十億も使っても、運用できないという事ですから、それが環境アセスメントの意味なんです。

六総代：今の基準に対してですが、目指す所は、クリーンプラザふじみ並という事ですか。

天理市：クリーンプラザふじみについては、町のど真ん中にありますので、周辺の自治会等の合意事項がかなり法令基準よりきつくされている所です。当然その法令基準、地元との協定の中で、独自で定められた基準で運用しておられるので、今度、天理が建てる施設については、法令基準以上の厳しい基準で、地元と合意出来たら有り難いと考えております。

六総代：法令基準というのは、極めて高い数字ですから、少なくとも最新鋭の物と・・・クリーンプラザふじみは、何年ですか。

天理市：平成26年4月に稼働した施設です、最新施設です。

六総代：それを当然目指すと。

天理市：はい、目指します。

六総代：丹小の所に、ダイオキシン、どうのこうのないという事だけでも、こちらでは、ダイオキシンに対して、極めて厳しくさしてもらえるのに、どうして測定されないんですか。

天理市：丹小のこのデータは、県、国のソラマメ君という、誰でも見られるインターネット上にあるものです。

六総代：そしたら、ここで分析始めるという事ですね。

天理市：はい。

六総代：1. 今の焼却炉の所に持ち込み出来るんですけども、この新しくなった所には、それが継続されるのか。2. クリーンセンター出来た時に、入口に信号機つけられるのか。3. 資料5の次のページの新ごみ処理施設の広域化についてとあるが、2つ目の所の天理市と奈良県に大きなメリットと書いてあるんですが、地元のメリットは、どういうふうに考えているのかお聞きしたい。

天理市：持ち込みは、今現在の状況というのは年間1万件位です。市内については持ち込みの継続をすすめる方向で考えておりますけど、それは運用で地元との協議する内容になってくるかなと思っています。持ち込みたいという市民のニーズもあれば、持ち込むとなれば、その為に乗用車が来るという事があるので、それが年間どれくらいで、今の交通量からしたらどれくらい影響するか、お

示し出来れば皆さんに、ご理解もらえると思いますので、出させていただきます。信号機については、実際に通る車の量を見た上で、県警が安全の為に必要かどうかの判断に掛かってくる訳です。うちとして、付ける、付けないという事は言えないが、車が通行面で安全じゃ無いという事になれば、それは警察と協議して行くという事になって参ります。天理市にとってメリットがあるという事は、それはイコール地元というふうに考えておりますし、そこは、先程質問頂きましたけども、それに付随して何か市民サービスに繋がるような施設が周り出来るとか、今後出来るだけ喜んで頂けるような方策を考えていきたいと思っています。その点でも、可能性としては、お湯とか電気というのは、出てくるというのが現時点での説明になります。

六総代：市に対しては、なぜ樺本へ来たのかという質問も出ていましたし、明確な答え、その他質疑に対して出来るだけ早急に答えを出して下さい。数カ月遅ければ1年遅れる。だんだん遅れる事ばかりだしよろしくお願ひします。今度の対応については、六総には、各自治会の役員会に報告して下さい。住民説明会等を考えたいなと思います。その間、各自治会の役員会等でお話願ひたい。意見集約しながら、住民説明会に入っていきたい。本日は長時間ありがとうございます。今日出なかった質問も出てくると思いますので、我々としては、随時お受けしたいと思っています。

天理市：今日お受けした質疑について、これ以降の説明会を継続してやらせて頂きたいと思っています。又何か聞きたい事がありましたら、率直に言って下さい。その中で皆さんに安心して、この施設を整備する計画が着実に進んで行けるように、私共も頑張っていきたいと思っています。

六総代：議員さんにも聞きたいという事で、樺本、檜、和爾という事をお聞きしました。これは今後、公民館について校区区長会の方で日程調整させていただきます。それによって、校区の各自治会、どのような日程になるかというのは、各自治会で実行していくと思います。垣内で説明するのに、資料は無いんですか。

司 会：区長さん通じて、戸数言ってもらったら、公室長の方で用意してくれます。

以 上

